

# まちづくり通信 第3号

## 新清洲駅北地区のまちづくりについて

平成23年8月発行  
清須市建設部地域開発課

暑い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、新清洲駅北地区におきましては、「まちづくり研究会」第2回が8月7日に行われました。

今回の研究会のテーマは「課題の解決策」と「これからのまちづくり」です。研究員の方々の活発な意見交換が行われました。

第2回研究会の内容について、ご紹介いたします。

### 第2回まちづくり研究会

#### ○研究会メンバー

- |          |                   |         |  |
|----------|-------------------|---------|--|
| ・ 市民研究員  | 9名                | (内2名欠席) |  |
| ・ オブザーバー | 愛知県尾張建設事務所        | 1名      |  |
| ・ 事務局    | 清須市建設部地域開発課       | 6名      |  |
|          | 都市再生機構中部支社都市再生業務部 | 2名      |  |
|          | 中央コンサルタンツ(株)      | 1名      |  |

#### ○検討テーマ(その1): 課題の解決策

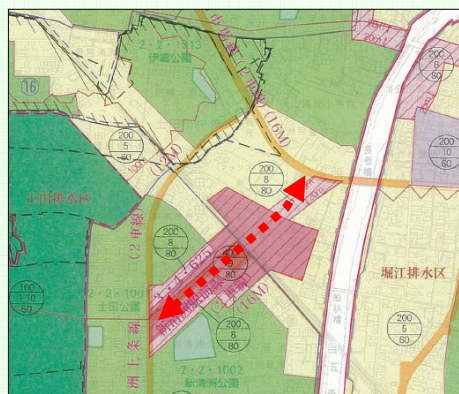
前回研究会で抽出された課題について、事務局からの解決策(案)を提示しました。

#### 課題1: 駅の南北を貫く道路は車道、歩道を含めた大きな道路に(袋小路の問題)

解決策として、2案とそのメリット、デメリットを提示しました。

##### ■ 駅を南北に貫く軸として、車・自転車・歩行者利用の道路を計画する場合

- ・ これまで自転車と徒歩でしか移動できなかったが、南北の車の移動が容易になる。
- ・ 現在の道路網に対して、ショートカットする配置になるため、駅前に通過交通が増え危険であり、交通安全に対して十分な配慮が必要になる。
- ・ 通過交通ではあるが、交通量が増えることで沿道利用の促進が期待できる。
- ・ 高架の桁のスパンが長くなるため、鉄道高架の事業費が増える。
- ・ 駅北側の現踏切と競合する。



■ 駅を南北に貫く軸として、自転車・歩行者利用の道路を計画する場合

- ・南北の車の移動の状況は変わらない。
- ・駅周辺には、主に駅を利用する車の通行が主体になるので、徒歩や自転車での安全な移動の確保が期待できる。
- ・駅へのアクセス路は確保されるため、車での駅利用には支障はない。
- ・高架の桁のスパンへの影響はないと考えられるので、鉄道高架の事業費は増えない。
- ・歩行者の移動速度が車に比べ遅いので、通過ではなく買物、ウィンドウショッピングなどが可能。商店街の形成を成しうる。

**課題2：当該者\*のコミュニティの保持**

解決策	主な効果
<ul style="list-style-type: none"><li>・区画整理では、換地、移転補償により、住み続けていただける環境を整備する。</li><li>・計画段階から市民が参加できるように配慮し、まちづくりを進める。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・長年培われてきた地域のコミュニティを壊すことなく、事業完了後も従前と同じコミュニティの確保が可能となる。</li><li>・自らが計画に参加することにより、まちに対する愛着が増す。</li></ul>

**課題3：治水の問題**

解決策	主な効果
<ul style="list-style-type: none"><li>・区画整理を推進することで五条川の整備が促進される。</li><li>・区画整理に合わせて地区内の下水道（雨水）の整備を行う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・五条川改修と合わせて鉄道高架することで、安全が確保できる。</li><li>・基準に沿った下水道の整備を行うことで雨水が排水され、浸水を防ぐことができる。</li></ul>

**課題4：当該者\*の移転その後の生活の解決**

**課題5：当該者\*の安心できる事項が先決**

解決策	主な効果
<ul style="list-style-type: none"><li>・換地及び補償等は事業計画決定後になることを十分に説明する。</li><li>・補償基準を設けて移転補償等を実施する。補償内容を十分に説明する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・補償基準を明確にすることで公平性を保つことができる。</li></ul>

※当該者…地権者等

また、昨年のアンケート調査の自由意見の回答をおさらいとして説明しました。

以上の解決策について、意見交換を行いました。特に課題1について、駅を南北に貫く道路に車を通す必要性の有無について、活発な意見交換が行われました。この課題1については、事務局で詳細な検討を行う予定です。

**○検討テーマ（その2）：これからのまちづくり**

今後、まちづくりのコンセプトやイメージを整理していくために、「これからのまちづくり」について、意見交換のポイントは次の項目として、研究員が2グループに分かれて議論を行い、意見を発表しました。

## 意見交換のポイント

- ①課題を解決して良いまちにする。
- ②現在のまちの特徴を伸ばして良いまちにする。
- ③新たにまちの特徴をつくりだして良いまちにする。

## Aグループからの意見

- ① 課題を解決して良いまちにする。
  - 南北の風通しを良くする
    - ・ 日用品店はあるが、専門店（銀行、写真店等）が無く、それを設置する
  - 鉄道高架下を利用して、駐車場、駐輪場の確保
- ② 現在のまちの特徴を伸ばして良いまちにする。
  - 土産、地産店、地場産業を利用して、まちの活性化を行う
  - 現在の中心である駅南から、駅北側へ再生する。（昔は北が中心であった）
    - ・ 例えばウォーキングのスタートである等
- ③ 新たにまちの特徴をつくりだして良いまちにする。
  - 駅を降りたら歴史を感じるまち
    - ・ 清須城までのプロムナード
    - ・ 途中にモニュメント（名古屋芸大周辺のように造形的な、例えば刀の矢印によるサインで歴史を感じさせるデザイン） 商業より観光
    - ・ 駅舎をお城風のデザインにする

## Bグループからの意見

- ① 課題を解決して良いまちにする。
  - 五条川改修による治水対策
    - ・ 船枳橋区域まで危険なので、改修を早急に行ってほしい
  - 名鉄高架化事業による
    - ・ 駅前づくり
    - ・ 交通アクセスの検討、長者橋からの駅への入り口は危険なので駅から一方通行にすべき、駅へ入る道はもう一本設置する
    - ・ 鉄道高架下に駐車場、駐輪場の確保
    - ・ 生活道路整備：消防車が入れるように、特に川沿いの道が狭い
    - ・ 防犯対策（交番、照明）
- ② 現在のまちの特徴を伸ばして良いまちにする。
  - 歴史のあるまちとして
    - ・ 朝日貝塚資料館づくり（吉野ヶ里遺跡に匹敵するといわれている）
    - ・ 織田信長と清洲城
    - ・ 美濃路と宿場町「清洲」
    - ・ 名古屋近郊（電車で5～10分）の便利で快適さをPR
- ③ 新たにまちの特徴をつくりだして良いまちにする。
  - 旧清洲飛行場跡地の開発をして、工場用地、住宅用地、文化施設の誘致
  - 特産品のPRと新しい特産品の創造

今回は研究員から、以上のような多くの意見が提案されました。この意見について整理を行い、次々回（第4回）のまちづくり研究会のテーマである「まちのイメージ」において検討を行う予定です。

次回のテーマは先進地視察として、次の事例を視察する予定です。

- ・ 豊明前後駅南土地区画整理事業（愛知県豊明市）
- ・ 枇杷島駅東土地区画整理事業

次回の研究会の状況についても、「まちづくり通信」で皆様にご報告いたします。

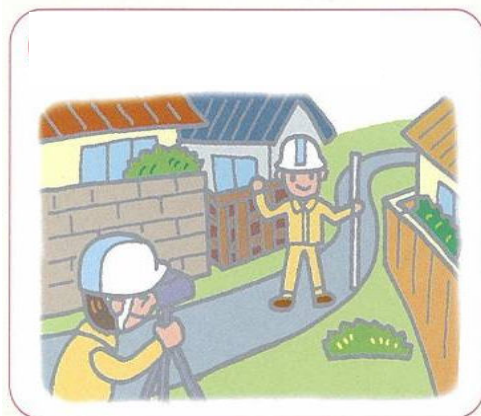
### お知らせ

土地区画整理事業を進めるために、都市再生機構から概況基本調査業務と区画整理設計他業務が発注され、現地調査等を行っているところです。

また、10月上旬頃に地区界測量（土地区画整理事業の区域界を測量）を発注する予定です。区域界に土地をお持ちの方は、境界立会い等をお願いすることがあります。また必要に応じて、敷地内への立入りを行うことがあります。

詳細につきましては、測量業者が決まり次第ご連絡いたします。

ご理解とご協力をお願い致します。



**皆様のご意見・要望等があれば下記までお願いします。**

清須市建設部地域開発課 開発係

TEL 052-400-2911 Fax 052-504-2655

電子メール [chiikikaihatu@city.kiyosu.lg.jp](mailto:chiikikaihatu@city.kiyosu.lg.jp)

